

第36回 歳末たすけあいチャリティーショー



1月24日、3年ぶりとなる「歳末たすけあいチャリティーショー」が市民会館で開催されました。昨年は台風災害の被害、また、一昨年は市民会館改修工事のために開催できず、今回は久しぶりの開催となりました。チャリティーショーでは、各団体がこの日のために練習や稽古を積み重ね、合唱やダンス、体操、演劇など全14プログラムを披露し、笑いあり、驚きあり、感動ありの大盛況のイベントになりました。このイベントで得た収益は、歳末たすけあい募金として、地域の公民館や集会所の改修・備品整備等に配分されます。

人権と向き合う大切な時間 津久見市人権フォーラム

受賞作品を発表する
西隆汰さん→



内多勝康さんによる講演会



受賞者(人権標語・人権作文)



弁論する
桂原大和さん↓



12月15日、市民会館大ホールで「津久見市人権フォーラム」が開催されました。人権標語・人権作文の表彰式のあと、第38回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会佐伯地区で最優秀賞を受賞した西隆汰さん(二中3年)が、受賞作品『聴こうとしたのはあの授業から』を発表しました。また、中学生弁論に、桂原大和さん(一中2年)が、『誰もが過ごしやすい環境作りを』を読み上げ、その後、大分県立芸術文化短期大学の学生さんによる手話を交えた合唱や元NHKアナウンサーで、医療型短期入所施設“もみじの家”ハウスマネージャーの内多勝康さんによる講演会「NHKアナウンサーが模索した自分なりの正義」も行われ、会場には多くの方が参加し、人権に関する発表や講演に耳を傾けていました。

みんなの頑張りをタスキに込めて 子ども会駅伝大会



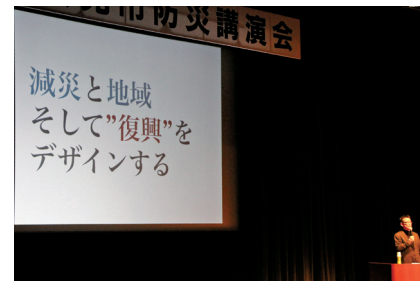
12月2日、総合運動公園周辺で子ども会駅伝大会が開催されました。男子11チーム、女子4チームが参加し、多くの応援を背に受け、白熱した戦いが行われ、最後まであきらめずにタスキをつなぐ姿がたくさんありました。結果は男子・女子ともに千怒Aチームが優勝しました。

心温まる映画を鑑賞 NPO法人きらり☆つくみ 映画上映会



12月2日、市民会館で「NPO法人きらり☆つくみ」が映画上映会を行いました。この映画上映会は、映画館のない津久見で、共通の話題となる映画を鑑賞した後、津久見について語り合う場を提供するために行われており、今回で13回目を迎えました。

今後のあるべき防災・減災とは？ 津久見市防災講演会



11月29日、市民会館で、昨年の災害から1年が経ち、津久見市の復旧・復興に向けての取り組みの報告やこれからの防災・減災について、市民の方と一緒に考えていく「防災講演会」が開催され、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長の小林祐司教授にご講演いただきました。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

海の幸を味わう

兵殖からの贈り物



ブリや豊後まぐろヨコゾーナをはじめとした水産物の養殖や加工、販売を行っている株式会社兵殖が、市内にある保育園や認定こども園、幼稚園に美味しいブリを届けてくれました。この取り組みは、14年間に渡って続いており、園児たちには、津久見の魚のおいしさや魅力を知ってもらおうことができています。

未来を担う子どもたちに、地元で養殖し、水揚げされた水産物のおいしさを知ってもらい、各家庭における水産物を使った料理の更なる普及を目指すことを目的に、津久見市水産物消費拡大協議会が11月22日に市内小中学校給食へ養殖ブリを提供しました。



地元の魚をおいしくいただきました



地元で水揚げされた水産物の美味しさや、郷土料理の素晴らしさ、食文化の継承を行うことを目的に、「アジ」や「タチウオ」を使った親子料理教室を市内小学校で実施しました。



親子で魚を捌きました

100歳のお祝い 深津チホさん(11月16日生)



100歳の誕生日を迎えられた宮本町に住む深津チホさんをお祝いするため、川野市長がご自宅を訪問しました。チホさんは、畑仕事や読書、愛犬と遊ぶことを日課にしているそうです。また、津久見の魅力がたくさん教えていただき、とても勉強になりました。いつまでもお元気で。

スポーツで広げる、交流の輪・和 総合型地域スポーツクラブ交流会



「総合型地域スポーツクラブ交流会inつくみ」が津久見市総合運動公園で開催されました。体育館では、卓球バレーや貯筋運動、体力測定、健康チェックなどが、屋外では、ウォーキングを始め、ミニフットサルやテニス、ストラックアウトなどが催され、子どもから高齢者の方まで、みんなで楽しみました。

「おおいた冬の事故ゼロ運動」街頭キャンペーン



12月12日、津久見幹部交番前で「おおいた冬の事故ゼロ運動」街頭キャンペーンが行われました。冷たい風が吹く中、たくさんの方の交通関係団体の皆さんを始め、今回は津久見少年剣道教室のみなさんも街頭運動に参加し、戸高瑞翔さん(千怒小6年)が代表として、交通安全宣言を力強く読み上げました。期間中は、冬の事故ゼロ運動として、市内各所で交通安全推進のために啓発活動が行われました。これからも交通ルールの遵守や安全運転を心がけ、交通事故のない明るい社会を目指します。

心のSOSを受け止めるために 子どもの安全を考える市民講演会



11月27日、子どもの安全を考える市民講演会が市民ふれあい交流センターで開催されました。子どものための専用電話「チャイルドラインおおいた」代表の平井貴美子氏を講師として迎え、子どもたちの声や気持ちを真剣に受け止め、見守っていく社会を作っていくための活動について、ご講演いただきました。